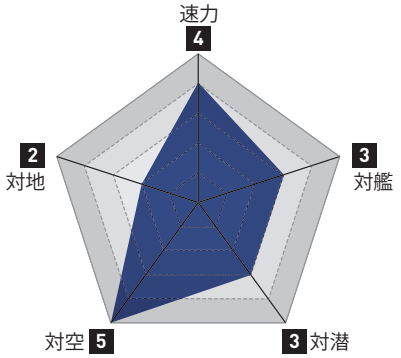
「こんごう」型ミサイル護衛艦２番艦「きりしま（174）」。写真／海上自衛隊

大型駆逐艦としての速力は申し分ない高速性を持つ。イージス艦ゆえに対空戦闘に特化しており、対艦、対潜戦闘は標準的。格納庫が無く対潜ヘリを常時運用することができないが対潜ミサイルを搭載する。対地攻撃も主砲で攻撃する程度しか想定せず、あくまでも対空戦闘を主眼に設計されている。海自で唯一BMD運用できる護衛艦だ。



こんごう型護衛艦

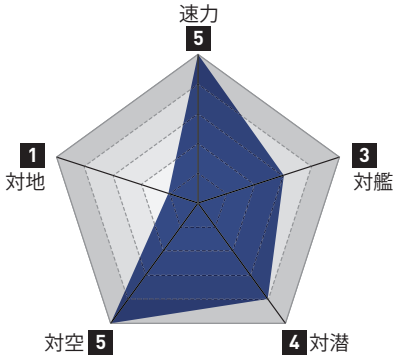
■全長×全幅×深さ×喫水	161 × 21.0 × 12.0 × 6.2m
■基準排水量	7250t
■主機械	ガスタービン４基 ２軸
■馬力	100000PS
■速力	30kt
■主要兵装	イージス装置一式、VLS 装置一式、 高性能 20㎜機関砲 x ２、SSM 装置一式、 54 口径 127㎜単装速射砲、３連装短魚雷発射管 x ２、 電波探知妨害装置一式、対潜情報処理装置一式
■乗員	約 300 名

「あたご」型ミサイル護衛艦２番艦「あしがら（178）」。
写真／海上自衛隊

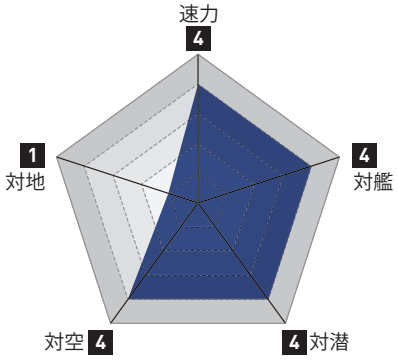
あたご型護衛艦

■全長×全幅×深さ×喫水	165 × 21.0 × 12.0 × 6.2m
■基準排水量	7750t
■主機械	ガスタービン４基 ２軸
■馬力	100000PS
■速力	30kt
■主要兵装	イージス装置一式、VLS 装置一式、 高性能 20㎜機関砲 x ２、SSM 装置一式、 62 口径 127㎜単装砲×１、 ３連装短魚雷発射管 x ２、 哨戒ヘリコプターなど
■乗員	約 300 名

十分な速力と、後部にヘリ格納庫を持つことから常時、搭載ヘリの運用が可能。また各種対潜ミサイルを搭載するため対潜能力は高い。対艦戦闘は標準的。対空能力は高いがSM- ３ミサイルを発射できず、BMD運用には使えない。それでも対空戦闘力は高く、多くの目標を撃破できるだろう。



大型高速艦と協調、艦隊行動をとるための高速性能を持っている。SSM（対艦ミサイル）を搭載、打撃力は大きい。自艦の対潜装備と対潜ヘリの常時運用が可能なことで対潜能力も高い。防空能力は高精度、僚艦／艦隊の防空に貢献。対地攻撃は想定せず、能力は低い。



あきづき型護衛艦

■全長×全幅×深さ×喫水	151 × 18.3 × 10.9 × 5.4m
■基準排水量	5050t
■主機械	ガスタービン４基 ２軸
■馬力	64000PS
■速力	30kt
■主要兵装	高性能 20㎜機関砲 x ２、VLS 装置一式、SSM 装置一式、 62 口径 127㎜単装砲×１、魚雷発射管 x ２、 哨戒ヘリコプターなど
■乗員	約 200 名

「あきづき」型護衛艦２番艦「てるづき（116）」。
写真／海上自衛隊